

東京大学中東地域研究センター (UTCMES)
[スルタン・カブース・グローバル中東研究寄付講座]

第6回定例研究会

ヨーロッパ国際政治史における アルバニア独立問題(1912-1914)

報告者: 馬場優 (福岡女子大学)

要旨

第一次世界大戦に至るヨーロッパ国際政治史研究には、独立国アルバニアがバルカン戦争(1912-13年)を契機として、またヨーロッパ諸大国のイニシアチブによって1914年初頭に誕生したという理解がある。本報告では、近年出版されたドイツ人研究者レーアとイギリス人研究者ガイの研究(N. Guy, *The Birth of Albania*, 2012. H.C. Löhr, *Die Gründung Albanien*, 2010.)を足がかりにして、ヨーロッパ国際政治史、特に報告者の専門であるハプスブルク帝国から見たアルバニア独立問題を分析する。



生じたという理解がある。本報告では、近年出版されたドイツ人研究者レーアとイギリス人研究者ガイの研究(N. Guy, *The Birth of Albania*, 2012. H.C. Löhr, *Die Gründung Albanien*, 2010.)を足がかりにして、ヨーロッパ国際政治史、特に報告者の専門であるハプスブルク帝国から見たアルバニア独立問題を分析する。

特に報告者の専門であるハプスブルク帝国から見たアルバニア独立問題を分析する。

日時: 2013年2月2日(土) 15:30-17:00

(参加自由、事前連絡不要)

会場: 東京大学駒場キャンパス18号館1階
メディアラボ2 *1

*1 土曜日につき18号館入口は施錠されていますので、できる限り定刻までにお越しください。
なお、都合により時間や会場が変更される場合は、当センターのホームページにてお知らせします。

問い合わせ先: 東京大学中東地域研究センター (UTCMES)
03-5465-7724/info@utcmes.c.u-tokyo.ac.jp
<http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/UTCMES/index.html>



東京大学中東地域研究センター
UTCMES
The University of Tokyo Centre for Middle Eastern Studies